



ヨコハマトリエンナーレ 2014 閉幕しました！！

会期中に、延べ 20 万人を超えるお客様がご来場

8月1日(金)に開幕したヨコハマトリエンナーレ 2014 は、本日、11月3日(月・祝)閉幕しました。約3か月の会期中には、**延べ 20 万人**を超えるお客様にご来場いただきました。

皆様のご来場にお礼を申し上げますとともに、総来場者数(速報値)について、以下のとおり発表いたします。

1. 総来場者数(速報値)

214,901人 (うち中学生以下の来場者数 **26,381人**、外国人来場者数 **4,501人**)

2. 開催概要

会 期:平成 26 年8月1日(金)～ 11月3日(月・祝)

開場日数:89日 休場日数:6日

会 場:横浜美術館、新港ピア(新港ふ頭展示施設)

主 催:横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

支 援:文化庁(国際芸術フェスティバル支援事業)

特別協力:独立行政法人国際交流基金

閉幕のご挨拶

ヨコハマトリエンナーレ 2014 は、約3か月の会期を経て、本日無事閉幕を迎え、延べ 20 万人を超える皆様にご来場いただきました。皆様のご来場に御礼申し上げます。

各地で現代アートの国際展が数多く開催された本年、私たちは、横浜トリエンナーレならではのオリジナリティを重視しました。森村泰昌アーティストック・ディレクターが、真摯なメッセージを伝える展覧会を構成し、その内容は国内外の専門家から高く評価されました。

また、現代美術の魅力を広く伝えるために、中・高校生や市民サポーターによるガイドも新たに編成しました。多くの市民の皆様の本トリエンナーレを支えていただいたことは大きな喜びです。特に学校連携の成果として、学校団体の見学が増え、横浜トリエンナーレが次世代へも広がりつつあると実感しております。

今回は、東アジア文化都市 2014 横浜の特別事業にも位置付けられ、創造界隈拠点5拠点すべてと連携し「まちにひろがるトリエンナーレ」を実現することができました。その結果、アジアをはじめとする多くの海外の方々と交流を深めることができました。

最後になりますが、本トリエンナーレ実現に向けて、ご出品いただきましたアーティスト、美術館、ギャラリー、ご協力並びにご支援いただいた関係機関、企業、団体、個人そして市民サポーターの皆様、心より御礼申し上げます。

毎回多様な試みを実践しつつ、横浜トリエンナーレは進化しつづけています。日本を代表する現代アートの国際展として、横浜トリエンナーレを皆様とともに更に育てていきたいと思っております。

2017 年もどうぞご期待ください。

横浜トリエンナーレ組織委員会委員長
逢坂 恵理子

ヨコハマトリエンナーレ2014公式ウェブサイト: <http://www.yokohamatriennale.jp>

本リリースおよびご掲載に関するお問合せ

ヨコハマトリエンナーレ 2014 広報事務局(株式会社ユース・プランニング センター) 担当:浅野・池袋・岩川・鈴木

〒150-8551 東京都渋谷区渋谷 1-3-9 東海堂渋谷ビル 3F TEL:03-3486-0575 FAX:03-3499-0958 E-mail:yt2014@yppcr.com